



新山七転び会



TOPICS

12月定例会	3
9議員が町政を問う	4
次世代議会	14

年頭あいさつ2024

議長 難波 武志



令和6年の年頭にあたり
謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

皆さまには希望に満ちた
新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

町民の方々には日頃より
議会活動にご理解ご支援を
賜り、心より感謝申し上げ
ます。

昨年は新型コロナウイルス
感染症も、インフルエン
ザ同様の5類扱いとなり、
少しづつ活気の兆しを感じ
るようになってきました。

しかし、温暖化による夏
から秋へかけての高温によ
り、農作物への被害は大き
く農家の皆様には大変なご
苦労があったこととお察し
申し上げます。

また、円城浄水場での飲
料水への有機フッ素化合物
の確認問題では、円城地区
の方々をはじめ多くの皆さ
まにご不便や不安、怒り、
そして失望を抱かせてしま
い、誠に申し訳ありません。
心よりお詫び申し上げます。
我々吉備中央町議会に
も多大な責任があると痛感
し、二度とこのような事態
が起きないように、議員全
員が一丸となって議会とし
ての役目を果たしていか
なればと決意を新たにしてい
るところです。また、被

害を受けられた方々に対し
て、一日でも早く不安払拭
のための取り組みを進めて
いかなければと考えていま
す。

今後は、町内全域に安心
安全な水を供給するための
取り組みも働きかけていき
たいと考えています。

失われた吉備中央町の信
頼を取り戻すために、議員
全員で力を合わせて議会と
しての役目を果たして参り
ます。皆さま方のご支援を
お願いいたします。

最後になりましたが、今
年の干支の「辰」のよう
にさまざま願いが叶い、飛
躍の年となりますように心
よりご祈念申し上げます。
いたします。

副議長 西山 宗弘



新年あけましておめでと
うございます。皆さまには
穏やかな新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

振り返りますと、昨年は
温暖化による猛暑と水不足
により町の主要産業である
米をはじめとした農産物の
生育に大きな被害がしまし
た。また、円城浄水場での
水道水への有機フッ素化合
物の混入問題では、円城地
区の皆さまには大変な不安
やご不便をおかけする事態
となり、誠に申し訳ありま

せんでした。

今年の干支は「甲辰」で
す。辰（龍）は十二支の中
で唯一想像上の生きもので
あり、さまざまな運を開く
強い力を持つそうです。

本年は災害がなく、安心
して飲める水への信頼が回
復できるようにと願うばか
りです。また、昨年来の町
の重苦しい雰囲気 clears にか
に洗い流され、新たな年が、
希望が輝く未来へとつな
がっていくように議会も更
なる努力を続けばなりません。
より一層気を引き締め
て臨みたいと思います。
最後になりましたが、皆
さまのご健勝とご多幸をお
祈りし、年頭のご挨拶とい
たします。

円城地区

水道使用料の返還を議決

12月定例会

12月定例会は12月4日開会。令和4年度決算特別委員会の審査報告3件、専決処分の報告3件、条例改正など10件、請負契約締結の変更2件、議員発議3件、5年度一般会計及び特別会計補正予算6件、上下水道事業会計補正予算3件が上程された。審議の結果いずれも原案どおり可決され、20日閉会した。

令和4年度 決算の審査報告

◎令和4年度一般会計、各特別会計、上水道及び下水道事業会計決算に対し、決算特別委員会から意見を付し、認定すべきであるとする審査の結果及び経緯が報告され、認定多数で認定された。

専決処分（主なもの）

◎町事務執行適正化に係る第三者委員会設置条例

円城浄水場での有機フッ素化合物等の検出による水道課の事務執行を調査するため。

条例の改正など （主なもの）

◎町長及び副町長の給与の特例に関する条例

円城浄水場における有機フッ素化合物等の検出により、町長及び副町長の給与を、令和6年1月1日から令和6年3月31日まで、100分の50に乗じた額を減じた額とする。

◎町特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

原因究明委員会の委員の日額報酬2万円を新規追加。

請負契約締結の変更

◎町立（仮称）円城こども園増築工事
1億3640万円を1億7892万円に変更

工事内容の変更（天井の修復・補強、遊具の撤去・新設など、4千万円の増額）

◎吉備高原児童クラブ新築工事
9680万円を1億83万円に変更

工事内容の変更（支援員や保護者の意見により、窓とテラスをアルミパネルに変更。静養室、シャワーボックスを別室に配置。）

議員発議

◎町議員の請負の状況の公表に関する条例

◎再審法の改正を求める意見書

◎令和6年度予算特別委員会の設置

一般会計補正予算 （主なもの）

◎物価高騰重点支援給付金
1億3300万円
国による住民税非課税世帯に対する1世帯7万円の給付金の交付。

上下水道特別会計補正 予算（主なもの）

◎上水道事業特別損失
1億1571万円
円城浄水場での有機フッ素化合物等の検出により、円城地区の住民に対し、令和2年4月から令和5年8月までの水道使用料を返還する。

こじごが聞きたい

9 議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

(12月14日)

ページ	議員名	質問項目
5	黒田 員米	円城浄水場関連
6	河上真智子	住民説明会のあり方 これからの公共交通のあり方
7	加藤 高志	小学校統合 文化財保護 地球温暖化
8	日名 義人	円城浄水・PFAS問題 デジタル田園都市国家構想交付金事業 学校再編に伴う「学校跡地利用」
9	成田 賢一	開かれた行政運営 これからの町づくり 子ども支援

(12月15日)

ページ	議員名	質問項目
10	渡邊 順子	町営個人向け住宅設置 一般社団法人観光協会の現状 地域猫活動
11	丸山 節夫	デジタル事業・今後の取り組み 行政組織（人材育成基本方針）
12	西山 宗弘	補助金の目標は 公共事業の設計 防災士組織の立上げ
13	山崎 誠	円城浄水場の諸課題と対策 交通DX実装プロジェクト

一般質問とは、町の政治行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。



黒田 員米

問 円城浄水場問題への対応

答 住民に寄り添い対応する

問 今回の円城浄水場問題に対する対応はどのようにするのか。

答 山本町長 健康被害は地域住民に寄り添いながら対応する。そのため血液検査は、健康影響対策委員会に対して町として、地域住民皆さんの要望に沿った対応をしたいという意向を伝えていく。血液検査結果が出た後のフォロー体制の構築などを委員会の提言を受け、町として結論を出していきたい。

一度失われた信頼を取り戻すことは容易ではない。まずは第三者委員会の提言を踏まえ、上水道事業における問題点や課題に対する再発防止対策、そして職員の見識改革をしっかりと実施することが必要。

役場組織としてのガバナンスのあり方をしっかりと検証し、再構築することが必要と考え、早急に内部統制の整備運用に向けて取り組む。

答 歳原水道課長 水道管の水抜きや検査水採取は、地域へ説明はしていなかった。

説明や立会いを求めているが透明性が確保され、誤解を招く可能性は低かったと思われる。よって今後の水採取は、自治会への声掛けにより立会いをお願いしたい。

水質検査は、週2回程度、円城浄水場、案田配水池及び円城小学校の検査をおこない、さらに配水末端の場所を変えながら定期的に実施する。検査結果は町のホームページ、広報紙などに掲載する。

答 片岡総務課長 円城浄水場からの給水証明は希望者には出す。

第三者委員会は関係者への聞き取り調査を12月末までおこない、第2回目の委員会を1月に開催し、年度内の最終報告を目指す。第三者委員会の活動内容や進捗状況は、できる限り丁寧な説明や報告を地域に對しておこないたい。

答 大榎企画課長 血液検査のデータを長期的な視点で有効に活用できるように、デジタル田園健康特区の関連事業に反映することで、少しでも町民の健康に寄与できるのではと思っている。

さらに血液検査だけでなく、さらに血液検査だけでなく、さらさら、そこから得られる情報やデータ連携基盤を通じて入手可能な健康・医療情報など、総合的な健康状態の把握にはデジタル活用を検討したい。

答 山口農林課長 風評被害対策は、補償風評対策部会を設置し、町商工会、JA及び道の駅などからの情報を共有する。

被害補償は、町商工会と連携し、専門家による個別相談会や現状の聞き取りなどを実施する。さらに具体的な被害額を把握するため、今までの情報を基に被害額の聞き取りを実施し、最終的には弁護士により補償額を判断をしたい。また、調査漏れ防止のため、加工品などの製造販売

に係る影響はチラシを12月の広報紙で、円城地区の各戸に配布し詳しい情報をさらに収集する。



円城浄水場

答 古好住民課長 原因調査は、問題発生直後より県と町において進めているが、最終的な原因確定にはまだ時間を要するものと思われる。

今後は、国や県より紹介を受けた活性炭や地盤工学、環境動態などの専門家による原因究明委員会を立ち上げ、水質と活性炭との関連性を明らかにしていく。有機フッ素化合物は、明確な基準が物質ごとに定まっていない。今後、研究などが進むにつれて基準が明確に定まってくると思うが、今回の原因究明がその一助になればとも思っている。

交通弱者への対策は

公共交通を整備する



河上 真智子

問

答

問 岡山医療センター便の運行をデマンド型にすれば、経済性・利便性も上がると思うがどうか。

答 総務課長 公共交通会議を通じて協議していきたい。

問 今後、スクールバス の台数増加に伴い、二種免許取得者を確保しておく必要が高まっているが対策は。

答 総務課長 将来にわたっての公共交通の維持のため、担い手確保の支援策として検討する。

対象者や内容に応じた説明会の実施について、さまざまな面から検討が必要であると思う。

問 説明会での用語の使い方によって理解度は変わる。この点については検討しているか。

答 総務課長 語句の意味がわからなければ伝わりにくい。できるだけ聞く側に立った対応を心掛けていきたい。

問 ケーブルテレビの放映枠を借り上げて行政からのお知らせ放送はできないか。

答 総務課長 多くの町民の方が視聴されているため、有効な方法の一つだと思う。近隣の自治体の状況を踏まえて検討したい。

住民説明会のあり方

問 従来の公民館単位での一斉説明会では現状に合っていない。日程や開始時間、移動手段や伝達方法を考慮し、より住民に寄り添った分かりやすい説明をすべきでは。

答 総務課長 従来と比べ、住民の方のライフサイクルも多様化している。それぞれの



わかりやすい説明を

肢が広がることで利用者が分散し、利用率が落ちることも理解している。最終的にどういう公共交通が町にとってふさわしいのか検証したい。また、住民だけでなく、町外からの来訪者の利便性も踏まえて精査していきたい。

問

町内の公共交通の整備は、高齢化する住民の移動手段の確保として大切である。今後の方針はどうか。

答 山本町長 町内循環型のへそ8バス、デマンド型乗合いタクシーのそれぞれについて、運賃、便数、運行方法などメリット・デメリットがある。利用形態にあったものを選ぶことができるのが良い点だ。しかし、選択

へそ8バスとデマンド型乗合いタクシーのすみ分けは。

答 片岡総務課長 お互いのいいところのすみ分けをおこないながら、利便性を活かし、それぞれの利用率が向上できる方法を考えていきたい。

高齢者や歩行が困難な方から「至近距離での移動にデマンドタクシーを利用するのは気が引

ける」という声がある。遠慮せず使えるような仕組みはできないか。

答 総務課長 「ちよつとの距離でも」というニーズはたいへん多いと思う。その点を考慮しながら今後の制度設計も見直していく。

イベントが多い土日・祝日には、へそ8バス・デマンドタクシーとも運行がなく、交通手段がない方は参加しにくい。中学生の次世代議会でも要望があったが対応は。

答 総務課長 曜日を分けて運行するなどのすみ分けを検討するのも一方法かもしれない。いろいろな面から検討したい。



加藤 高志

問 一 小学校統合、複式解消は 答 一 教員確保に全力を



問 統合に向け来年度中の複式解消は、「やり遂げる」の一択。解消の環境は、教職員の充足が第一義である。岡山教育事務所への要望・調整について充足への手ごたえなど、現況を尋ねる。

答 石井教育長 複式学級を有する学校への教員配置については、統合前年度と該当年度に3地域へ配置される統合や複式解消加配、専門的指導をおこなう専科や非常勤講師の加配など、さまざまな加配を活用し、複式学級における学び残しのない学習指導体制の構築に向けて県教委へ要望し、教員確保に全力で取り組んでいる。また、県教委も、確実に実施できるように前向きに検討していただいていると感じている。

中学不登校

問 岡山県は中学での不登校が全国で一番少ないにもかかわらず、加賀中学校では不登校生徒が少なくないと聞く。要因をどう分析し、対策を立てているのか尋ねる。

答 教育長 要因は、一概には言えないが、精神的・心理的な問題や、生活リズムの乱れ、友人との人間関係や、学業への不適應なども考えられ、単独ではなく複数が組み合わされる場合もある。対処するには生徒個別のニーズに合わせたサポートが必要であり、学校や保護者、関係機関が連携して取り組むことが重要であるとも指導している。また、自立応援コーデイネーターを配置するとともに、自立応援室も設置。教室には入りづらい生徒が、個別に学習指導を受けることが可能となるよう相談体制の強化も図っている。

文化財保護

問 黒山地区西谷邸の「旭楽庭」。重森三玲が作庭した現存する最古の作品である。所有者死去に伴い、町教委として今後の管理はどうあるべきと考えているか、意向を尋ねる。



旭楽庭

答 教育長 個人所有物件につき、課題も多いと考えるが、地域での活用を含めた活動が計画される場合には、関連する部署と連携し、今後の管理について研究していくことは可能と考えている。

農業地球温暖化適応策

問 水稻栽培では気温上昇によって白濁した未熟な米粒が発生、一方で果実栽培では着色不良が生じるなど、生育初期の高温被害が本町でも発生している。農業立町吉備中央町としての全般適応策を尋ねる。

答 山口農林課長 新品種へ切替えば難しく、当面は水管理と肥培管理の徹底により品質低下を軽減していく。

答 中山協働推進課長 米の品質低下が懸念されていることは承知している。県や農業改良普及指導センター、JAなど関係機関から引き続き農業技術指導を受け、生産者へも積極的に啓発できるよう努めていく。

問 P F A S 汚染、国へも

答 知見と支援を求め



日名 義人

河平ダムPFAS汚染について

問 PFAS汚染、不適切対応、経過と見解を聞く。

答 山本町長 令和2年は調査結果と異なる報告。3、4年時は基準越え時の別途報告も怠った。

「管理体制や法令遵守意識欠如」と反省している。

デジタル都市国家構想

問 今回「EV車」採用時の初歩的失態をマスコミも取り上げた。町「職員プロジェクト」の役割発揮で再発防止を。

答 大櫻企画課長 デジタル事業は役場全体の事業で、各課から問題点、提案等を事業に反映すべく取り組んでいる。

学校跡地利用

問 文科省も「地域の思いが詰まって施設、地域の意向を踏まえ、検討、活用を進めること」と表明しているが、配慮と段取りを聞く。

答 石井教育長 地域の意向を踏まえていく。まず地域からの提案を出していただくが、協議進行中の地域もある。

答 企画課長 学校は町の貴重な財産、地域にも寄与してき

た。次の活用には地域住民の思いを重視しつつも町財政事情もあり、民間資本活用も検討する。また、跡地利用の情報は周知を図っていく。
その他、廃校記念行事の財政支援を問う。



「旧大和中学校」ティアハイム小学校





成田 賢一

問

動画配信で行政の透明性を

答

配信は町のリスクとなる

問 円城浄水場問題に
対し、人的支援を岡
山県、県広域水道企業団、
町社会福祉協議会。給水対
応支援を日本水道協会岡山
支部、多くの自治体、その
他、町内企業、何よりも町
民がご支援くださったこと
に、心より感謝を申し上げ
たい。町水質検査計画が令
和3・4年度は公表されて
いなかった。水質問題で表
面化した虚偽や改ざん、隠
蔽。町の行政運営に不透明
さがある。議会の中継や録
画をYouTube配信し、
行政運営の透明性を高めて
いくべきでは。

答 **山本町長**
議会の動画配信は
特定議員や首長のパフォー
マンズの道具と化し、誹謗
中傷を交えることも多々あ
る。議会中継を不特定多数
に配信することは、町のリ
スクとなる。

問 専決処分で、町の
事務執行の適正化に
関する第三者委員会の設置
条例が制定されたが、私だ
けは不承認とした。①利害

関係を有しない者で構成と
あるが、岡山大学と町はデ
ジタル事業で利害関係にあ
るのでは。②条例ではオン
ライン会議出席は可能であ
り、県外大学教授も委員は
可能では。③会議は公開し
ないとするが、原則公開に
すべきでは。④報告は必要
に応じて町長に報告とある
が、進捗状況を議会と町民
にその都度公表すべきでは。

答 **片岡総務課長**
①水道課はデジタ
ル事業に関わりがないと弁
護士に確認した。②近隣自
治体の第三者委員会に岡山
大学が入っており、岡大は
優秀だ。③会議の中立性が
不当に損なわれないよう原
則公開しない。④プライバシー
に配慮し、今後の影響
がない範囲で検討する。

問 8月にNHKで報
道された入札に関す
る裁判。9月議会では説明
せず。町HPに公開し、説
明責任を果たすべきでは。

答 **岡田副町長**
令和5年7月に町
を被告とした損害賠償請求

事件の訴状が岡山地方裁判
所に提出された。非公開の
弁論準備手続の第1回が11
月9日におこなわれた。町
HPの公開には及ばない。

問 母子健康手帳デジ
タル化のプロポーザ
ル。委託契約書と町財務規
則では、受託完了したら検
査をおこなうとある。開発
が完了した日はいつか。

答 **町長**
この事業は内閣府
の実証調査業務でおこなわ
れており、完了日は把握し
ていない。

問 町アーキテクトで
ある牧氏は、デジタ
ル事業を演題とした講演
で、デジタル交付金を受け
ているインクルーシブスク
エアの8社のうち3社と利
益相反（法人の役職にある
者が地方公共団体の公の職
に就く場合、その職務と関
係する事項を個人的な利益
を優先させること）にある
と公言している。不適切で
あり、対処すべきだ。

答 **町長**
その内容を聴いて

おらず、答えることはない。
事実関係を確認する。

こども支援

問 町では来年度から
こども園が4園にな
り、保護者の通園など、負
担が増える場合がある。旧
加茂川地域のみで支給され
ている補助支給制度を①全
町に拡大すべきでは。②現
在は年額4千円であるが、
値上げを。③通園通学への
補助制度では、こども園は
子育て推進課、小学校や中
学校は教育委員会、高校は
総務課となっている。担当
課を一本化すべきでは。

答 **根本子育て推進課長**
①全町への拡大を
検討する。②他自治体を参
考にし、増額を検討する。

③町民が
効率的で、
確認や利
用がしや
すい制度
になるよ
う、検討
する。



問 单身用住宅の整備は

答 整備方法を研究検討



渡邊 順子

心がけていきたい。そのために町民の力だけでなく、地域の力を借りて、専門業者ともしっかりとタイアップをして進めるべきだと思う。お試し住宅でも、単身用の必要性は十分わかっている。世帯用も含め進める案件だと思っている。また、個人向けの住宅も必要だと思う。設置場所、住民のニーズを伺い、整備方法などを研究検討する時期になっていると考える。

おこし協力隊だけではなく、継続的に働ける職員の雇用、町職員の出向や観光協会事業補助金増額の考えはどうか。また、電動アシスト自転車は現在どうなっているのか。

継続して勤務できる職員を雇用することが、継続的に業務をする上で必要。観光協会から要望を聞きながら検討していきたい。

電動アシスト自転車は、吉備高原リゾートホテルと連携をし、10台は宿泊者のご利用と、管理をお願いしている。賀陽道の駅の10台は、レンタル再開の準備をしているところだ。利用者を増やすための努力、サイクリングコースの設定などを検討していく必要がある。

地域猫活動

問 以前にも質問したが、相変わらず各地域で猫によるトラブルが発生している。その解決のために、行政として、地域猫活動に何かできないか。



答 町長 行政としては、現在町独自の補助金などの制度はない。県動物愛護センターの地域猫活動支援事業、動物愛護財団の犬猫不妊去勢手術助成金などを活用していただきたい。岡山県の自治体で地域猫の助成をしている団体は、5市町村、町村では1町のみである。近隣市町の動向を見たい研究しながら取り組んでいきたい。

問 吉備中央町で移住、定住促進を考えると、お試し住宅や町営住宅も世帯用だけでなく、単身用住宅を整備する必要があるのではないか。

答 山本町長

町内に多くの空き家がある。ぜひ地域の推薦などをお願いしながら、空き家バンクに登録していただきたい。町としても空き家の掘り起こしをし、空き家バンクに登録することを

一般社団法人観光協会の現状

問 昨年7月に発足された観光協会のさまざまな活動を、どのように考えているか。職員3人体制に無理はないのか。地域

力が足りないのか。地域

答 町長

多くの方に吉備中央町に訪れていただくよう、新たな魅力を発信しているのを承知している。町内業者としっかり連携をして、消費額の増加というところに視点を置いて、地域経済の活性化対策にも取り組んでいる。職員体制は、マンパワー不足とも見える。今、地域おこし協力隊を1名募集して



もっとPRを！！

町長 行政としては、現在町独自の補助金などの制度はない。県動物愛護センターの地域猫活動支援事業、動物愛護財団の犬猫不妊去勢手術助成金などを活用していただきたい。岡山県の自治体で地域猫の助成をしている団体は、5市町村、町村では1町のみである。近隣市町の動向を見たい研究しながら取り組んでいきたい。



丸山 節夫

問 マイクロEV中止の経緯は

答 継続利用は困難、事業を断念

問 継続中止に至ったのは、NHK報道による安全証明「PSEマーク」不備の指摘によるものなのか。その経緯と国への返還手続きを問う。

答 片岡総務課長
NHK取材により、マイクロEV事業の電気用品安全法に係る違法性が指摘され、直ちに納入業者へ確認したが明確な回答は得られなかった。安全性確保の観点から事業の中止と判断した。現在、交付金の返還手続きを国と協議している。

問 EV販売業者の見解は、試験的な利用であり例外と考えるのとこのことであるが、町長の判断を問う。

答 山本町長
他の地域で既に確立された優良モデルを活用した実装の取り組みであり、試験的利用の例外とは考えていない。

問 町民の多くの期待に反して事業を断念した。理解を得るための説

明周知の必要性を問う。

答 総務課長
現在、返還手続きなど国と調整している。内容が決まり次第、適正に対応する。

答 町長
説明責任はある。町も当然だが、議員も住民の代表であり、地域への説明を願う。

問 ベリーぐつどポイントと連携するきびアプリを活用した買い物支援「バーチャル商店街」での商工会との連携と必要性を問う。

答 大塚企画課長
今年度、地域商店の店頭と並ぶ商品を、きびアプリで購入できるバーチャル商店街の構築、実装への取り組みを進めている。

問 一般企業、商工会との密な連携協働による持続可能な事業として、継続できるのか。

答 町長
全て新たな取り組みであり、町の課題を少しでも解決することが目的で

ある。リスクを伴うが、目的達成のため日々努力する。

問 水道事業に係る新たな予算と、健全財政の観点から、デジタル事業の見直しの必要性を問う。

答 町長
円城浄水場に多くの予算が必要となる。デジタル事業は進めるべきであるが、水道関係が一番の優先項目である。翌年度事業では、医療事業は進め、それ以外は精査の上、事業を絞る考えである。

問 デジタル事業を進める上での最終着地点はどこを見据えているのか。

答 企画課長
この目的は、デジタル手段として町民の幸せ向上を目指すものである。今後とも、町民が利便性を感じる事業とする。

行政組織人材育成基本方針

問 人材育成の取り組みを問う。

答 岡田副町長
人事評価研修では必要な知識や技能を習得し、目標を設定し、やりがいの創出や職員のモチベーション向上を目指している。

問 最近の早期・中期退職者の増加傾向の実情をいかに捉えているか。

答 副町長
職員の早期退職は、増加傾向にあると認識している。入庁時の熱い思いを失うことなく、全職員が町づくりに挑戦し続けてもらいたい思いは、誰しもが願うところである。

問 職員の健康づくり応援、メンタルヘルス対策、職場風土の気づきに対する思いを問う。

答 副町長
若手職員から管理職に至り、ストレスを抱える職員の増加がうかがえる。現状を的確に分析し、快適に働くことのできる環境整備を進める。また、議会を含む外部団体、関係機関との円滑なコミュニケーションの醸成も大切と考える。

補助金の目的と精査の仕方は

行政目的の達成手段のひとつ



西山 宗弘

問

答

段と考えている。その財源の多くは町民の税金が使われていることから、補助金の必要性など町民の理解が得られるよう見直しをしている。

問 町民繁栄のために町からの補助金や助成金の制度は色々あるが、補助金の金額の決定に、いささか問題があると感じている。いろいろな情報を共有しながら、精査をしていると思うが、補助金制度の目的と精査の仕方について尋ねる。

答 山本町長

補助金制度の目的は地方自治体の行政目的を達成するためのひとつの手

補助金精査の仕方は事業の公益性、有効性、妥当性、公平性などの観点から個別に評価をし、吉備中央町総合政策会議で精査をおこなっている。各担当課で事業計画や事業実施報告書などにより目的達成状況の評価、検証をしている。補助金などの精査は基準に照らし合わせてその金額の妥当性の精査をおこなっている。

公共事業の設計

問

公共事業の設計において契約変更はあり得ることではあるが、このところあまりにも大きな金額の変更がありすぎるように感じる。設計会社などの精査をして欲しいと思うが考えを問う。

答

町長

公共事業の実施では入札により発注する。建築工事の場合基本的には現地の状況調査、確認をし、希望する建築物を設計するため、さまざまな条件から適切で、最適なものを建築するために設計書を作成する。特に改築の場合、既存の部分に確認しづらい部分が多くある。

時には見えない所もあるのでやむを得ず追加や変更

を余儀なくされる。設計段階に時間をかけ二重の手間や余分な費用がかからないように気をつけたい。



完成が待ち遠しい

問

防災士の資格取得には町から補助金が出ている。既に開始から数年経っているが成果が現れていない。災害などでの防災士の役目は重要と思われる。また、組織的な活動が必要とも考える。このことについて尋ねる。

答

町長

現在46名の方が資

職員健康管理について

問

地方公共団体の長である町長の立場から、職員の健康管理についてどのように考えているのか尋ねる。

答

町長

町では快適な職場環境を形成するために、産業医、衛生管理者、衛生推進者を選任し、安全衛生委員会を設置することで、職員の衛生管理、健康増進に今現在努めている。

主な活動としては、職員の健康相談、健康セミナー、職場内の環境向上の取り組みなど、職員が安心して職務に専念できるように快適な職場環境の整備に心がけている。



山崎 誠

なぜ気付かなかったか

町民の指摘で確認

問 円城浄水場のPFAS汚染水道水問題では、関係法令が守られず約1000人が3年以上にわたって知らずに飲んでいました。①当初令和2年度PFASの検査はしていないと答えている。事実か。②後日の資料によれば、令和2年度検査の有無は外部の指摘で発覚したとされている。どういう経緯があったのか。③実際には令和2年度800ng/L検出されていた。それを1ng/Lと報告したのは改ざんではないのか。

答 歳原水道課長 ①10月14日備前保健所の立ち入り検査の際、令和2年度PFASの検査はしていないと答えたのは事実。②18日町民から、令和2年度は検査していると指摘され、改めて確認し判明した。③他の浄水場のデータを誤って入力し、課内でダブルチェックがなされなかった。

問 1ng/L報告がミスか改ざんか重要

な点なので、関係資料の開示請求をしたが期日の11月23日には提出されず12月23日に延期された。残念ながら現時点ではチェックできない。次に、水道法で公表が定められている水質検査結果が、令和2年度から問題が発覚する令和5年10月までホームページで公表されなかったのはなぜか。

答 水道課長 ホームページで公表していなかったが縦覧はしていた。事務の誤りであり、10月20日に公表した。

速やかに血液検査の実施を

問 給水が再開され次の最優先課題は血液検査である。これほど高濃度のPFAS汚染水を3年以上飲んだのは例がない。検査をすれば相当高い数値が出ると予測される。体内に入ったPFASは内臓諸器官にダメージを与え続ける。特に幼児は心配で、早急な血液検査が必要である。

答 山本町長 WHOの発がん基準が2段階上がったことは承知している。血液検査に対する関係町民の強い思いも知っている。町民の思いに寄り添い対応する。また、健康検査も併せて必要と思っている。

早急に経済被害の損失補償を

問 町で設置した補償風評部会の協議はどのように進んでいるか。被害は全町に及んでいる。早急に補償の大枠を周知すべきである。

答 山口農林課長 補償風評部会は現在までに7回実施している。商工会の調査で道の駅かようでの返品も聞いているが、現在は円城区域を中心に調査している。

問 ふるさと米の状況はどうか。

答 中山協働推進課長 12月14日現在、130件、447万円のキャンセルが発生しているが、

来年度も本年度同様の出荷を見込んでいる。

問 今後の給水は広域水道から

答 町長 今後の長期的給水態勢はどうなるか。

問 広域水道企業団から受水し給水する準備をしている。

答 以前の議会でマイクローEVの売買契約書はないと答えている。返金はスムーズに進むのか。

問 現在、内閣府と交付金返還に関する手続きの調整をおこなっている。

答 片岡総務課長



期待はずれ…

吉備中央町 次世代議会

令和5年12月17日

第1回『吉備中央町次世代議会』が開かれました。

開会にあたり山本町長より「今年から次世代を担う皆さんにふさわしい名称になりました。町の喫緊の課題は人口減少です。子育てしやすい町をどのように発信し、町内出身者の町内



令和5年12月17日、吉備中央町議会議場において『次世代議会』が開催されました。加賀中学校の3年生8名が登壇し、執行部に対し自分が考えた課題や解決のためのアイデアを質問しました。



居住率を高め、移住率を高めることが課題です。」と挨拶がありました。2名の学生が交代で議長を務め、質問に立った中学生議員は、緊張しながらも1人5分の持ち時間の中でしっかりと自分の意見を述べていました。身近な問題や町の豊かな自然を活かした観光開発、新しい農業の取り組み、また廃校利用に関してのさまざまな活性化の提案がありました。



最後に石井教育長から「町の将来に夢をはせ、郷土の更なる魅力づくりについて真剣に考えたことを提案していただいた。町をより良くしようとする意欲的な姿を見てとてもうれしく思いました。今日の議場で

の経験をこれからの学校生活や人生に活かし、更なる成長をされるように期待しています。」と挨拶がありました。中学生議員の緊張していた表情がほっと緩んでいました。

追跡

あの時の質問
どうなってる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。



Q 質 問 (令和3年12月定例会)

補聴器購入助成を、障がい者手帳所有者以外にもおこなうべき。

A 答 弁

補聴器購入の個人負担は重いと思われる。経費などを考慮しながら研究、検討する。

現 状 (福祉課)

令和5年4月より、身体障害者手帳の交付対象とならない65歳以上の方を対象とした「補聴器購入費助成制度」を始めている。これにより、耳鼻科で補聴器が必要と認められた高齢者の方に50,000円を上限とした助成をおこなっている。

Q 質 問 (令和3年12月定例会)

- ①個人受診の人間ドックの助成金増額をすべき。
- ②後期高齢者についても助成対象に含めるべき。

A 答 弁

- ①人間ドックにはさまざまな検診が含まれ、健康増進につながる。増額についてしっかりと検討したい。
- ②生活改善による疾病予防とともに、自身の体調管理が必要。人間ドックは大変有用なものだ。助成対象追加への研究をする。

現 状 (保健課)

特定健康診査対象者への人間ドック助成金は、令和4年度に助成額の上限を8,000円から10,000円に増額し実施している。

また、後期高齢者健康診査対象者の人間ドック助成は、令和5年度から特定健康診査の対象者と同額の上限10,000円の助成をおこなっている。



編集後記

あけましておめでとうございませう。

昨年は、町を揺るがす大きな問題が起こり町民の皆様にはたいへんご心配をおかけしました。

このような事態において私たち議員としての振る舞いや対応についてどうあるべきなのか議会の中でもいろいろと意見が出たところです。

今年も辰年。龍は物事を佳い方向に導き、さまざまな願いを叶えてくれると言われま

す。町としての誇りを取り戻し、ますますの発展につなげられるように議員ひとりひとりが気を引き締めて臨まなければなりません。

本年もどうぞよろしくお願いたします。 河上真智子



series シリーズ

昔と今の
小学校

今号は…
吉備高原小学校
大和小学校
です。

吉備高原小学校

岡山県が進めた「クリエイティブTOWN岡山」事業として平成10年4月に開校。当時は、教職員14名、児童数63名。現在の生徒数は、97名で、令和7年度の統合（吉川・大和）後は、生徒数180名程となる見込み。

大和小学校

昭和22年4月、大和国民学校から吉備郡大和村立大和小学校に改称。昭和30年2月、町村合併により、上房郡賀陽町立大和小学校と改称。平成20年3月、新体育館完成。平成28年3月、新プールが完成し、現在に至る。



吉備中央町立 吉備高原小学校

平成10年開校当初の様子



集合写真



平成29年開校20年記念の様子

【学校教育目標】

『大きな夢・輝けひとみ』

【児童像】

- ・ 困たたく：あたたかく、やさしい心で、人や自然に接する子
- ・ 円なやかに考え、主体的に行動できる子
- ・ 円くましく生きる力をつけ、未来にむかって伸びようとする子

【学校教育目標】

『しっかり考え、進んで取り組み、自然を大切に
にする児童の育成』

【児童像】

- ・ 目標をもって自分から取り組む子
- ・ 最後まで取り組む子
- ・ みんなと仲良く取り組む子



吉備中央町立 大和小学校



昭和48年入学式の様子
生徒数202名



令和5年入学式の様子
生徒数60名



昭和48年修学旅行



令和5年修学旅行

【学校教育目標】

自ら学び 心豊かに
たくましく生きる 大和っ子の育成

【目指す学校】

- ・ 児童と教職員が、共に生き生きと活動する学校
- ・ 児童に「自分を高める力」を育成する学校
- ・ 家庭や地域と連携し、信頼される学校

【目指す子どもたちの姿】

- ・ 自ら学び、自ら考え行動する子（自主）
- ・ 仲良く、思いやりのある子（協力）
- ・ まじめに、最後までがんばる子（誠実）